

夢見ヶ崎動物公園を中心とした地域循環モデル構築の実証実験 夢見ヶ崎プロジェクトの開始に伴う記者発表会を開催しました

川崎市と三菱化工機株式会社（本社事務所：川崎市幸区）は、令和8年6月15日（月）に締結した「川崎市における循環型社会の実現に関する連携協定」に基づく取組の第1弾として、夢見ヶ崎動物公園を中心とした地域循環モデルの構築を目指す実証実験「夢見ヶ崎プロジェクト」を開始し、7月27日（月）に地元の子どもたちやPRアンバサダーをはじめ、本プロジェクトに関わる市民の皆様とともにホップ等の作付けを行い、記者発表会を開催しました。

本プロジェクトは、夢見ヶ崎動物公園周辺で活動する市民・団体等で構成される「ゆめみらい交流会」をきっかけに発足されました。夢見ヶ崎動物公園周辺において、残さ（調理時に発生する野菜くずなど）等を堆肥化し、その堆肥を活用した農作物を栽培するとともに、地域と連携した商品開発・販売へとつなげることで、収益の一部を夢見ヶ崎動物公園の運営に還元する取組を実施します。

1 記者発表会の概要

【日時】 令和8年7月27日（月）11:00～12:00

【場所】 夢見ヶ崎動物公園（川崎市幸区南加瀬1-2-1）

【出席者】 川崎市長 福田紀彦

三菱化工機株式会社 代表取締役 社長執行役員 田中利一（タナカ トシカズ）

KADOKAWA DREAMS エグゼクティブプロデューサー KEITA（ケイタ）

東海道BEER川崎宿工場 代表取締役 岩澤克政（イワサワ カツマサ）

ほか 本プロジェクトに関わる市民、商品開発、PRアンバサダー等

2 プロジェクトの概要

夢見ヶ崎動物公園周辺で活動する市民・団体等で構成される「ゆめみらい交流会」をきっかけに発足されたもので、夢見ヶ崎動物公園周辺において、残さ（調理時に発生する野菜くずなど）等をコンポストにより堆肥化し、その堆肥を活用してホップやレモングラス等の農作物を栽培、さらに地域と連携したオリジナル商品の開発・販売へとつなげることで、収益の一部を夢見ヶ崎動物公園の運営に還元する循環型の仕組みを構築することを目的とした取組を実施します。

3 今後の予定

堆肥づくりや栽培、市民参加型ワークショップ、商品開発、ロゴ募集等を順次実施し、令和8年11月の商品販売を目指します。



当日の農作物作付けの様子

【問合せ先】

（協定及び夢見ヶ崎プロジェクトに関すること）

川崎市総務企画局共創推進室 木村

電話 044-200-1215（内線 23403）

（資源循環の取組に関すること）

川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当 鈴木

電話 044-200-2557（内線 31101）

（夢見ヶ崎動物公園に関すること）

川崎市建設緑政局緑政部夢見ヶ崎動物公園 浅井

電話 044-588-4030（外線のみ）

（ゆめみらい交流会に関すること）

川崎市幸区役所まちづくり推進部企画課 塚本

電話 044-556-6607（内線 62120）